

家庭勤行

(九族鎮魂・百日の行)

清瀧大権現付

令和八年五月五日

※太字・カツコの箇所は唱えません。

朝起きて身支度を整えた後に行う。
まず、お水等を供え、水玉の蓋を開ける。
切り火にて自身を浄める。
しばらく(一、二分)、息吹永世を勤める。

(二拝)

襦袢祝詞(みそぎはらいのりと)

高天の原に神留ります 神漏岐・神漏美命 以て 皇御祖神
伊邪那岐命 筑紫の日向の橘の小門の阿波岐原に 襦袢
給う時に 生れませる被戸の大神達 諸々の禍事罪穢を 被
い給い清め給えと白す事の由を 天津神・國津神・八百萬神達共
に聞き食せと 恐み恐み白す

(二拍手)

神前に向かって切り火を打ち、場、お道具を浄める。
合掌して

とほかみえみため

三唱(微音)

袂ひ給ひ 清め給ふ

◎◎◎◎◎さんの御霊

(微音)

惟神玉幸ひ給へ

三唱

(「唯一の印」を組み「息吹永世」による鎮魂)

(形代を持ち御辞儀をしながら息を吹きかける)

三息

(形代を置き、「万象調和の御拍手」)

四方^{しほう}拜^{はい}礼^{れい}
天^{てん}神^{しん}地^ち祇^ぎ
天^{あめ}五^ご色^{しき}大^{だい}天^{てん}空^{くう}大^{だい}神^{かみ}

(天空神結びの御拍手)

四^し拍^{ぱく}手^{しゅ}
拜^{はい}礼^{れい}

天^{あま}照^{てらす}大^{おお}神^{かみ}
氏^{うじ}神^{かみ}
八^や百^{ひゃく}万^{まん}大^{だい}神^{かみ}
金^{こん}剛^{ごう}神^{しん}

拜^{はい}礼^{れい}
拜^{はい}礼^{れい}

祈^き願^{がん}文^{もん}

天^{てん}下^か泰^{たい}平^{へい}
同^{どう}心^{しん}協^{きょう}力^{りよく}
万^{ばん}靈^{れい}感^{かん}謝^{しゃ}
乃^{ない}至^し法^{ほう}界^{かい}
万^{ばん}靈^{れい}感^{かん}謝^{しゃ}
乃^{ない}至^し法^{ほう}界^{かい}

万^{ばん}民^{みん}豊^{ほう}楽^{らく}
人^{じん}心^{しん}救^{きゅう}濟^{さい}
祈^き禱^{とう}冥^{めい}福^{ふく}
平^{びよう}等^{とう}利^り益^{やく}

※

三^{さん}綱^{ごう}五^ご常^{じょう}報^{ほう}恩^{おん}

国^{こく}土^どの^の大^{だい}御^ご恩^{おん}
父^ふ母^ぼの^の御^ご恩^{おん}
師^しの^の御^ご恩^{おん}
社^{しゃ}会^{かい}の^の御^ご恩^{おん}
天^{てん}地^ち宇^う宙^{ちゆう}万^{ばん}物^{ぶつ}の^の御^ご恩^{おん}

法^{ほう}志^じ天^{てん}思^し難^{なん}報^{ほう}
法^{ほう}志^じ天^{てん}思^し難^{なん}報^{ほう}
法^{ほう}志^じ天^{てん}思^し難^{なん}報^{ほう}
法^{ほう}志^じ天^{てん}思^し難^{なん}報^{ほう}
法^{ほう}志^じ天^{てん}思^し難^{なん}報^{ほう}

四^し方^{ほう}拜^{はい}礼^{れい}

身^み曾^そ岐^ぎ神^{しん}社^{しゃ}大^{だい}神^{かみ}

(万象調和の御拍手)

四^し拍^{ぱく}手^{しゅ}
拜^{はい}礼^{れい}

神^{かむ}な^なが^がら^ら玉^{たま}幸^{ちは}ひ^ひた^たま^まへ

(三唱)

(万象調和の御拍手)

※ 祈願文・三綱五常報恩は任意。唱えない場合は、「金剛神 拜礼 / 四拍手 /

身曾岐神社大神」となる。

(仏前にて)

兩部界会諸尊聖衆

五智如来

五行不動尊

解脱金剛

礼拝

清瀧大権現

礼拝

○家祖元以来先祖代々之靈

先祖代々関係無縁一切之靈

礼拝

開経偈(かいきょうげ)

無上甚深微妙法 百千萬劫難遭遇

我今見聞得受持 願解如来真实義

懺悔文(ざんげもん)

我昔所造諸惡業 皆由無始貪瞋痴

從身語意之所生 一切我今皆懺悔

般若心經(はんにやしんぎょう)

仏説摩訶般若波羅蜜多心經

觀自在菩薩、行深般若波羅蜜多時、照見五蘊皆空、度一切苦厄、舍利子、色不異空、空不異色、色即是空、空即是色、受想行識、亦復如是、舍利子、是諸法空相、不生不滅不垢不淨、不增不減、是故空中、無色無受想行識、無眼耳鼻舌身意、無色聲香味觸法、無眼界乃至、無意識界、無無明亦無

無明 尽、乃至無老死、亦無老死尽、無苦集 滅道、無智亦無得、
以無所得故菩提薩埵、依般若波羅蜜多故、心無罣礙、無罣礙故、
無有恐怖遠離一切顛倒夢想、究竟 涅槃、三世諸佛、依般若波
羅蜜多故、得阿耨多羅三藐 三菩提、故知般若波羅蜜多、是大
神咒、是大明 咒、是無上 咒、是無等等咒、能除一切苦、
真實不虛、故說般若波羅蜜多咒、即說咒 曰、羯 諦羯 諦、波
羅羯 諦、波羅僧 羯 諦。菩提薩婆訶、般若心經

大日如来真言（だいにちによらいしんごん）

おんばざら だどばん あびらうんけん (五反)

不動真言（ふどうしんごん）

のうまく さんまんだ ばざらだん せんだ
まかろしやだ そわたや うんたらた かんまん (五反)

清瀧大権現真言（せいりゅうだいごんげんしんごん）

南無清瀧大権現 (五反)

道祖宝号（どうそほうごう）

南無解脱金剛 (五反)

礼 拝

きょう いちにち
きょう 一日かむながらのみちを歩ませていただくことが出来ますように
ご守護ご加護ください。

個人のお祈り、一日の予定などをお伝えする。

水玉の蓋を閉める。

家庭勤行・夕拝

襖被祝詞

(二拝)

高天の原に神留ります 神漏岐・神漏美命 以て 皇御祖神
伊邪那岐命 筑紫の日向の橘の小門の阿波岐原に 襖被い
給う時に 生れませる被戸の大神達 諸々の禍事罪穢を 被
い給い清め給えと白す事の由を 天津神・國津神・八百萬神達共
に聞き食せと 恐み恐み白す

(二拍手)

四方拝礼

四拍手

天神地祇
天五色大天空大神

拝礼

(天空神結びの御拍手)

天照大神
氏神
八百万大神
金剛神

拝礼
拝礼
拝礼
拝礼

身曾岐神社大神

四拍手
拝礼

(万象調和の御拍手)

神ながら玉幸ひたまへ

(三唱)

(万象調和の御手)

(仏前にて)

両部界会諸尊聖衆

五智如来

五行不動尊

解脱金剛

清瀧大権現

礼拝

礼拝

○家祖元以来先祖代々之靈
先祖代々関係無縁一切之靈

礼拝

開経偈

懺悔文

般若心経

道祖宝号

南無解脱金剛

(五反)

礼拝

本日ほんじつも一日お守りいただきまして、ありがとうございました。

お供えしていたものを下げる。